昭和62年1月1日　第380号

世帯と人口

（昭和61年12月1日現在）
世　帯　29,933世帯（＋83）
人　口　95,888人（＋181）
男　49,319人　女　46,569人

広報えびな

毎月1日・15日発行

編集・発行
海老名市役所秘書広報課
〒243－04
神奈川県海老名市国分155
☎（0462）31・2111

十二支の新年会

ウサギの武器は平和の冠（かんむり）

ある日、十支（えと）に入る十種の動物たちの間で、仲の始めくらい、みんなそろって宴を開こう、と、ひょっかけもちまりました。

しかし、この話を聞いた鼠は、仮装に高ちな鼠達の動物ならとは同席したくない、と、参加しませんでした。また、ねこは、そこもりをしてしまったから、という理由で、ネズミは「何、やり、ねこに代しいから」という理由でそれぞれ出席しませんでした。鳥も、日ったけがいてたから…と、欠席したり、結局集まったのは四本足の動物たちばかりでした。

と、どもかくにも、新年会は開かれました。座もそれなりに盛り上がりやがて話題はそれぞれの自慢話に移りました。「私の強い牙（きば）のひとやきで相手は倒れる。ビイノシシが話せば、「私の鋭い爪（つめ）は大の無敵さ！」と、負けずにトラが言い返します。ほかの動物たちも、自分たちの強さを誇示し、居まるが、「私は口を鍛（け）鍛るほど強い蹄（ひずめ）を持っている」と自慢する始末です。

だが、ウサギだけはひとりもしゃべらずに、みんなの自慢話を悲しそうに聞いているだけでした。ウサギには自慢できる武器がなにもなかったのです。

やがて、そっと座を離れたウサギは、

「ああ、どうしてぼくには鋭い牙や爪、攻撃用の角や蹄がないのだろうこと、天を仰いで嘆きました。

するとどうでしょう。天上から神化（そうか）の神が現われウサギに声をかけました。

「ウサギよ、物を奪うするさもなく、争うこともせず、攻撃する武器も持たず、相手を傷つけることもしないお前の生き方こそ、最高の生き方なのだよ」

と、ウサギをほめ称え、ウサギだけに光り輝く平和の冠を授けられたということです。

（大谷の小島貞司さんから聞いたお話）

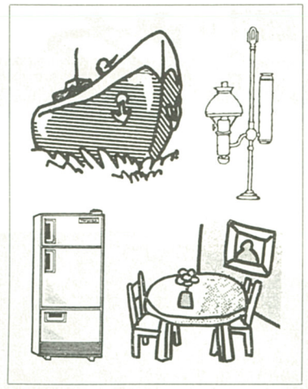
今年はウサギ年です。私たちも争い、争い、傷つけ合うことのない、平和な一年を送りたいものですね。

償却資産の申告を

1月1日現在で「資産なし」もその旨を

償却資産は、土地・家屋と同じように固定資産税の対象となり、申告に基づいて評価額が決定されます。市内で事業を営む法人、または個人で事業に使用している資産を持っている方は、毎年一月一日現在で、資産の多少にかかわらず、市長に申告しなければなりません。各事業所が点在して市町村をまたがる場合は、資産所在地の市町村へ。リース業も貸付先所在地の市町村に申告してください。

【申告時の注意事項】①昭和六十一年に申告している方は、六十一年一月一日から六十二年一月一日の間に増減した資産を申告。②初めて申告する方は、六十二年一月一日現在所有している資産の全部を申告。③「増減なし」(「資産なし」)の方でもその旨を申告。④記入方法については市町村をまたがる場合は、申告書に同封の要綱を参考にして、一月三十一日までに申告を。申告書は十二月初旬に郵送しましたが、まだ届かない場合は資産税課(内336)までご連絡ください。



【償却資産の主なもの】

◇構築物＝①構内舗装・広告塔・塀・街路灯・据え付け式ちゅうぼう施設など②建物の所有者以外の方が設備したもの(例・店内造作設備・照明設備・給排水設備など)

◇機械・装置＝工作機械・土木機械・印刷機械・その他各種産業用機械及び装置◇船舶＝貨客船・ボートなど◇航空機＝飛行機・ヘリコプターなど◇車両・運搬具＝自動車税・軽自動車税の課税対象車を除いたもの◇工具・備品＝測定工具・切削工具・美容理容機器・陳列ケース・冷蔵庫・レジスター・自動販売機・クーラー・応接セットなど。※問い合わせは資産税課。

届け出による日本国籍取得についてお知らせ

昭和60年1月1日から改正国籍法がスタートし、一定の条件を備えている外国人は、法務大臣に届け出ることによって、日本国籍を取得できるようになりました。

この届け出によって日本の国籍を取得できるケースはいくつかありますが、改正国籍法の施行前に日本人母から生まれた子の国籍取得の届け出は、特に改正国籍法の施行日から3年以内(昭和62年末まで)に限ってできるとされています。届け出をしようとする方は早目にご相談ください。

横浜地方法務局厚木支局(☎24・3163)

届いてますか、入学通知書

—まだの方など市教委に連絡を—

市教育委員会では、今年四月に小・中学校に入学するお子さんの保護者の方に、十二月に入学通知書を発送しましたが、次の方は学校教育課(内24)までご連絡ください。

①入学通知書がまだ届いていない方②転入・転居などで住所が変わった方③三月末までに転出予定の方④国立・私立小・中学校に入学される方⑤外国人の方で就学を希望される方⑥その他、不明の点がおおいの方。

4月入所の児童を募集

公立5保育園で

柏ケ谷、門沢橋、下今泉、中新田、勝瀬の五保育園で、四月入所児童を募集しています。

◇入所資格　次のいずれかの理由で、学齢前の児童が保育に欠ける場合(家庭内で母親以外に児童の保育ができる人がいる場合を除く)①母親がいない②母親が家庭内外で働いている③その他、家庭で児童の保育ができない場合

◇公立保育園の申し込み方法　一月二十六日から三十日までの各園ごとの指定日の午前九時～十一時半、午後一時～四時、市役所福祉課に用意してある必要書類を準備、児童をつれて市役所第一会議室で申し込む。問い合わせは及び五月以降の入所については福祉課児童係(内438)へ。

なお、私立認可保育園への入園については、直接各保育園に問い合わせください。市内の私立認可保育園は次のとおり。たちばな保育園(浜田町☎31・5831)・さがみ愛子園(河原口☎31・0846)・さくら愛子園(上河内☎38・1167)・ふたば愛子園(国分☎31・1636)

危険物保安講習会

県環境部防災消防課による危険物取扱資格を対象とする「危険物保安講習会」が次の要領で開かれます。現在、危険物施設で危険物の取り扱い作業に従事している人は、免状取得後五年以内または、前回の講習受講後五年以内に受講しなければなりません。ご注意ください。

▽日時・場所　二月十三日(金)県厚木労働センター。二月十七日(火)大和市消防本部。時間はいずれも午前十時～午後四時。

▽受講料　二千七百円。

▽申し込み　一月二十九日(木)県厚木合同庁舎。二月二日(月)県大和県事務所。時間はいずれも午前九時半～午後四時(正午～午後一時を除く)で、危険物取扱保安講習会受講申請書一通、所持する危険物取扱者免状のすべてを持参する。

▽問い合わせ　市消防本部消防災課予防係(☎31・0355)

年賀状を廃止

市議会で申し合わせ

市議会では、虚礼廃止や生活改善推進の立場から、冠婚葬祭の簡素化などを提案してきました。今年も、この問題を各党会派間で協議した結果、去年と同様に自筆を除く「年賀状の廃止」を実施することになりました。市民のみなさんにはその趣旨をご理解いただきますようお願いします。

海外ハイスクール体験

中・高校生の参加者を募集

春休みに米国など3カ国へ

財団法人国際青少年研修協会では、来年三月の春休みに実施する中学・高校生を対象とした"海外ハイスクール体験"事業の参加者を次の要領で募集しています。同事業は、海外の同世代の学校生活及び家庭生活を体験することにより、考え方や習慣を学ぶとともに、相互の交友と理解を深めることを目的として行われるもので、今回はアメリカに加え、新たにオーストラリアとニュージーランドの学校の協力で、三カ国のハイスクール体験が行われます。

☆明日と派遣人員　▽アメリカ(62年3月20日～4月5日、17日間、60人)▽オーストラリア(62年3月19日～4月5日、18日間、15人)▽ニュージーランド(62年3月20日～4月5日、17日間、15人)

☆主な活動　①学校体験②家庭滞在③ジャパンデイ及び交流行事④スキーキャンプ(アメリカ)⑤フィールドトリップ(オーストラリア、ニュージーランド)

☆経費　①参加費▽アメリカ(32万6千円)▽オーストラリア(36万6千円)▽ニュージーランド(35万8千円)②共通経費2万円・渡航手続き費その他)

☆応募資格　中1～高3の男女生徒で、目的を理解し積極的に行動できる、規律ある行動・団体生活ができる、健康で明朗、事前事後の研修で出席できることが条件。

☆締め切り　62年1月31日

☆事前・事後研修　3月7日(土)～8日(日)と4月25日(土)～26日(日)＝国立オリンピック記念青少年センター

☆問い合わせ・申し込み　国際青少年研修協会(〒160・東京都新宿区四谷2ノ11大村ビル☎03・359・8421)

情報コーナー

市役所から

◆体育施設使用団体の登録を　62年度分連動公園野球場及び学校体育施設(海西中・大谷中・今泉中の夜間照明付グラウンド及び市内小中学校体育館)の利用団体の登録を、2月2日から次の通り受け付けます。本年度登録済みの団体も再登録してください。

対象は市内在住勤者で構成され、その所在地が市内にあって、連動公園野球場及び学校体育施設夜間照明付グラウンドは9人以上の団体、学校体育施設は体育活動を目的とした団体。

申し込みは体育課にある申請書に記入して同課に提出。問い合わせは体育課(内257)。新規登録団体の新年度第一回抽せん会は、三月初旬に予定しています。

◆62・63年度建設工事等の入札参加　市の建設工事など(建築資材を含む)の入札参加資格審査申請書の受け付けをします。受け付けは2月2日から28日までの提出指定日(予約制)に市役所第6会議室で。様式は独自様式及び建設省統一様式。提出要領の配布は1月16日から建設総務課(内561)で。問い合わせは同課。

◆物品供給等入札参加資格者の登録受け付け　昭和62・63年度に市が発注する物品及び建物・設備の管理などにかかわる入札参加資格審査申請書を、2月2日から28日まで財政課で受け付けます。なお申請要領と用紙の配布(無料)は1月16日から行います。問い合わせは用度係(内327)へ。

◆平塚高等職業技術校で生徒募集　▽人員と訓練期間　自動車整備科(5人・1年)・インテリアサービス科(30人・1年)・溶接科(15人・6カ月)・ブロック建築科(20人・6カ月)▽募集期間　1月10日(土)～3月5日(木)※詳しいことは同校(平塚市東八幡4ノ19ノ4☎0463・23・1922)へ。

◆東京職業訓練短期大学校で学生募集　▽修業年限　2年(昼間)▽募集人員　生産機械科・金属成形科・自動車科・電気科・電子課・建築科・室内造形科・環境化学科各20人(男女を問わない)▽応募資格　高等学校卒業者(62年3月卒業見込み者を含む)または、同等以上の学力があると認められる者▽願書受付　1月19日(月)～2月7日(土)▽試験日　2月18日(水)▽試験地　東京・大阪・福岡▽試験科目　数学・理科・英語▽合格発表　2月27日(金)▽受験料など　受験料1万2千円、授業料年額14万円(現行)▽募集要項の請求　240円分の切手を同封、〒187小平市小川西町2ノ32ノ1号東京職業訓練短期大学校学生課(☎042・341・3331)へ。

わらじ作りに挑戦

西部福祉館でお年寄り40人

昔話に花咲かせ

1足に3時間かかる人も

"履きごこちは最高"

十二月十六日から五日間、市西部福祉館で、市内のお年寄り四十人が、わらぞうり、しめ縄飾り作りに挑戦しました。市福祉事務所がお年寄りの生きがい対策の一環として、八年前から実施している高齢者趣味の教室の中の「農村民芸」で、毎年正月用しめ縄飾りを作っています。

大貫さん(左)の手さばきに見入るお年寄り

講師は大貫年一さん(71歳・上河内2883)。大貫さんは小学校卒業後、父親からわら細工、竹細工作りを習い、以後、農作業の傍ら俵、ムシロ、ぞうり、竹かご、しめ縄飾りなどを作り続けてきました。その経験を生かして、児童館での「子ども民芸教室」でも講師を務めています。

材料は、大貫さんが縄作りのために栽培したモチ米のわらで、まだ実りきらないうちに刈り取って陰干ししてあるので、わらに青味が残っているのが特徴。わらじ一足作るのに約百本のわらが使われます。

今回参加したお年寄りは、わら細工を作ったことがない人が大半で、わらじ一足編むのに三時間以上かかる人も。一方子供のころ、わらぞうりや俵を作ったことのあるお年寄りは、手際よく完成させ「はきごこ地は最高」「昔はこれをはいて、農作業をしたもんだ」など、話に花を咲かせていました。

暖房器具などを安全点検

内の独り暮らし老人宅を訪問

十二月五日から十二日までの間、六日間にわたって、市内の独り暮らし老人宅を対象に、暖房器具などの安全点検が行われました。独り暮らしの老人に安心してお正月を迎えてもらうため、今年で五回目。

ガス器具をはじめ、石油暖房器具、ブレーカー、たこ足配線、コンセントの接触不良、漏電の心配などくわしく調べられ、問題があれば、その場で修理が行われました。

点検を見守る梅田さん(左)

これらのヒューズは新品と取り替えられ、安全が確認されましたが、点検を受けたお年寄りの一人、梅田伊助さん(67歳、上今泉2ノ一ノ11)は「一人なので、ガスや電気には念を入れて注意しているが、今回、ブレーカーや消火器なども点検してもらいひと安心。またブレーカーが正常かどうかの確認方法を教わり、勉強になりました」と話していました。安全点検などについてのお問い合わせは福祉課老人係(内436)へ。

【訂　正】十二月中旬に各戸配布した観光カレンダー「えびなのまつり」87年版中、親子ジャンボかるた大会の日程が一月十日とあるのは一月十七日の誤りです。

組合出荷所も併設

今里自治会館が完成

今里自治会待望の新自治会館(今里二一七)が完成し＝写真＝十二月八日、落成式が行われました。今里自治会館建設委員会(宮台松治会長、12人)が中心となり、建設を進めて来たもので、鉄骨平屋建て、床面積百六十六平方メートル、大小合わせ三つの集会室、調理室、印刷室があり、生産組合出荷所も併設されています。

地域住民の交流の場として、また婦人会や老人会などの団体活動の拠点としての利用が期待されます。

市長随想

今年はウサギ年。ウサギの平和の冠の話を一面で紹介しましたが、ウサギには身を守る足があります。時速七十キロと言われ、競走馬と同じぐらいとか。

それに加え、情報キャッチやレーダーの役目をする大きな耳があります。怪しい物音にいち早く応じ、脱兎の勢いで逃げます。ただ、前足が後足の四分の三の長さで、跳ぶ力は強いが坂を駆け降りることは誠に苦手の様。山の斜面を下から上へと逃げるそうです。頭をつかい横に跳んだり方向を変えたり……。神は弱者に生き伸びる知恵を持たせました。

さて、私たちの社会も社会状況やニーズなど多くの情報からの選択が必要です。ウサギのように情報を適格にキャッチしなければなりません。実行する手段を誤るとウサギのように坂でころがってしまいます。

この新しい年は、ウサギのように平和で、ウサギの脚力のような飛躍の年でありたいと思います。

ただ、ウサギとカメの童話の話もあります。入間、生涯教育で学ぶことばかりです。

市長　左藤　究

ウサギのように

県では、県民のみなさんから、県の仕事に対する意見や提案などをお聞きするため、次の要領で、六十二年度の県政モニターを募集します。

【募集人員】百五十人。

【募集期間】一月十六日(金)～二月十六日(月)

【資格】二十歳以上の県民(ただし、公務員や公職選挙法による公職にある人及び県政モニター経験者を除く)

【お願いすること】県政モニター会議への出席(年五回)

62年度県政モニターを募集

特定テーマに対する意見の提出(年四回)県の広報についてのアンケート(年三回)その他随時意見の提出。

【謝礼】年二万七千円以内。

【申込用紙】県庁、県の地区行政センター県民相談室、市・区役所、町村役場の窓口に用意。

【問い合わせ】最寄りの県地区行政センター県民課(部)または神奈川県県民課(部)広聴班(☎045・201・1111内3357～8)へ。

1月の青空市

サービスデーは25日

第3日曜日を除く毎週日曜日(4日は臨時休業)朝7時ごろから、市役所駐車場で、主な出品は白菜、大根、長ネギ、サトイモ、キャベツ、カリフラワー、イチゴ、鶏卵、鉢物など。

サービスデーは25日、当日は豚汁の無料サービスがあります。問い合わせは農産係(内521)。

冬の道路はデリケート

朝晩の冷え込みが日ごとに厳しくなってきました。特に冷える朝夕に打ち水をすると、凍結してスリップ事故の原因になります。この季節の打ち水は控えるようにお願いします。

打ち水、たき火やめて

また、冬の風物詩でもあるたき火は、楽しいものですが、アスファルト舗装された道路上で行うと、熱で舗装面を傷め、そこを車が通過するうちに、ひびい場合は穴があいてしまいます。

たき火はアスファルト舗装されていない道路や庭などで行ってください。

みんなの伝言板

このコーナーに掲載を希望される方は、原稿を作成して…

秘書広報課
広報係(内235)へ

●第一回トランポリン教室　1月25日(日)午前9時～午後3時、相模原市立鹿島台小学校体育館(小田急相模大野駅北口下車徒歩10分)で。子供さん、お姉さん、お兄さん、おとなでも参加できます。費用は保険料のみ(当日300円)服装は自由ですが、運動しやすい服装、長そで、くつ下が望ましい)で参加を。希望者は往復はがきに、氏名(ふりがな)住所、電話番号、年齢、性別、10)まで。

経験の有無(未成年者は保護者の印を押す)を書いて、海老名市上今泉6ノ8ノ29堀口美穂あてに一月15日までに(必着)申し込む。先着百人。主催は神奈川県トランポリン協会。

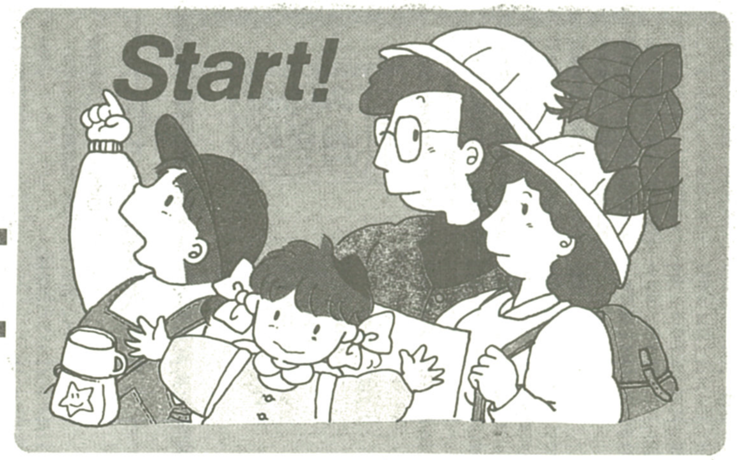
●西洋料理OB会　毎月第4木曜日の午前9時半～正午まで、市立中央公民館。講師は新井コロンバス先生。参加ご希望の方は西(☎32・822)まで。

すごろく

新春 海老名史跡めぐり

〈国分コース〉

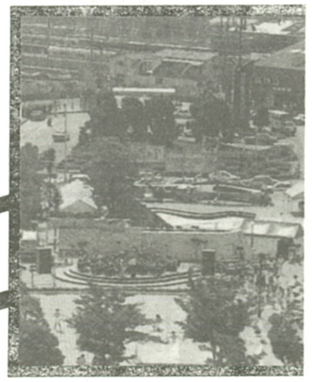
テレビゲームだけが遊びではありません。お正月にご家族そろって、トランプやすごろくなどに興じるのもよいものです。海老名市は相模国分寺に象徴される古い歴史のあるまちで、史跡めぐりコースがいくつもあります。そこで「国分コース」をすごろくにしました。さいころを振りながら、海老名の史跡を訪ねてみてください。

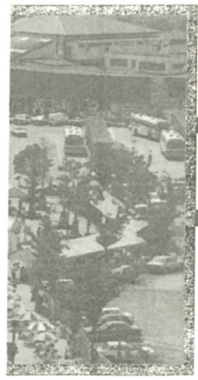


相模国分寺跡　相模国分寺は奈良時代の天平13年（741年）聖武天皇の詔で建立された。しかし、重なる天災や兵乱のため消滅してしまい、現在では大きな礎石だけが昔をしのばせる。

温故館と相模国分寺の模型　温故館は、大正七年に建設された海老名村役場庁舎を修復、補強し郷土資料館として開館した。一階には石器、土器、古瓦など考古資料、二階には農具など民俗資料を展示。

相模国分寺の模型は、百分の一のもので温故館に展示されている。七重の塔と金堂や回廊などが精巧に復元されている。

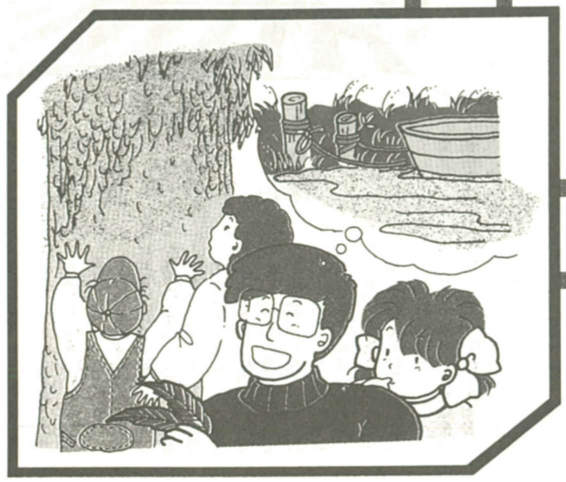




海老名中央公園　海老名駅東口前にあり、「海老名市郷土かるた」のタイル焼をはめ込んだベンチも置かれている。

仁王門と仁王像　龍峰寺仁王門は、元禄12年（1699年）、清水寺（現龍峰寺）の現在地移築に伴い、寺門として建立。のち、寛延4年（1751年）に再建。同年に仁王像が大仏師薩磨によって作られた。

千手観音立像　天平十二年（七四〇年）の詔で造られ湧河寺に安置された。湧河寺は天災地変で荒廃し、源頼朝が再建し清水寺と寺名を改めた。



海老名の大ケヤキ　国分寺薬師堂の参道入口にあり、周囲8㍍、高さ20㍍で、樹齢は700年とも1000年ともいわれる老木。このあたりが入海であったころ、漁師が船をつなぐために打ち込んだ逆杭が根づいて大ケヤキになったという伝説がある。

逆川の遺跡　逆川は大化の改新が行われたころ海老名耕地のかんがい用と運送用に掘られた川といわれている。

尼の泣水　最近まで、海老名小学校の近くの台地から清水がしたたり落ちていて、これを「尼の泣水」と呼び、尼の涙がしたたり落ちるのだ、と伝えられている。供養碑は現在、薬師堂の境内に移されている。

市駅伝競走大会にご声援を

1月11日

ご遠慮ください――コース上の駐車

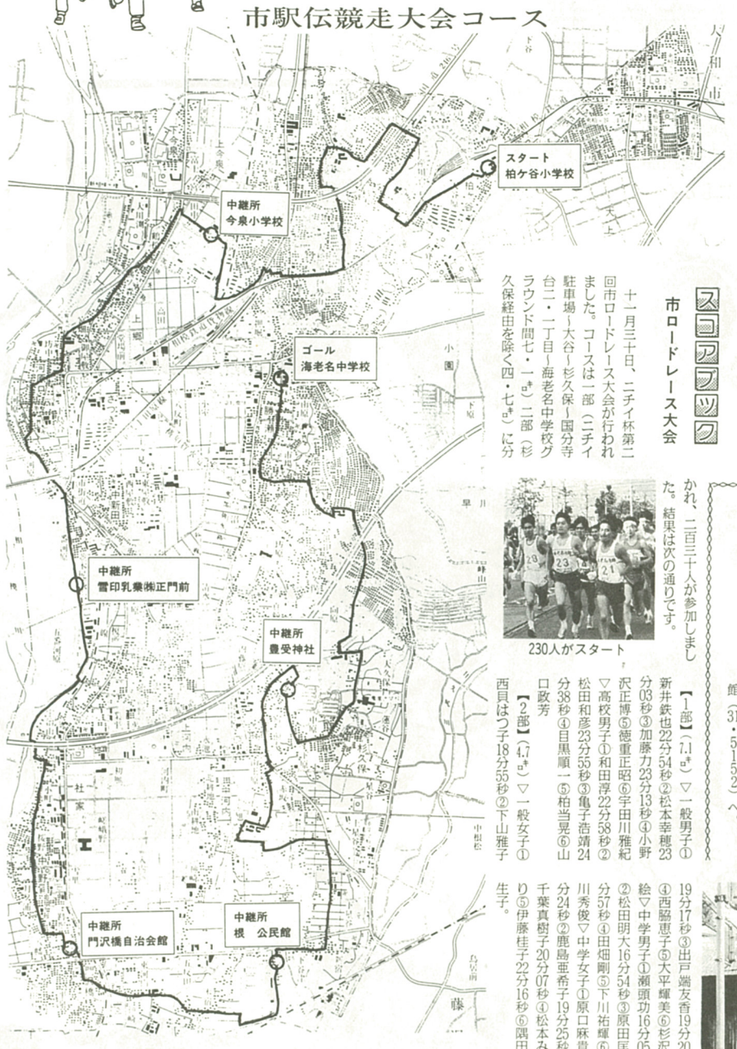
一月十一日に市駅伝大会が行われます。コースは午前九時十分に柏ケ谷小学校をスタート、今泉小学校（9時28分）、雪印乳業（9時43分）、門沢橋自治会館（9時54分）、根公民館（10時4分）、豊受大神（10時18分）を中継し、ゴールは海老名中学校（10時34分）の六区計二十五・七㌔です。（左図参照）

この大会は、自治会対抗、事業所対抗、中学校対抗、女子対抗の四部門に分けられ、素晴らしいレースが予想されます。盛大な応援をお願いします。

（）内は先頭通過予定時間。

△コース上での駐車はご遠慮を

市駅伝競走大会当日は、沿道での声援などで混雑することが予想されます。事故防止のためにも、コース上での駐車は、ご遠慮くださるようお願いします。



スコアブック　市ロードレース大会

十一月三十日、二ヂイ杯第二回市ロードレース大会が行われました。コースは一部（二ヂイ駐車場―大谷―杉久保―国分寺台二・一丁目―海老名中学校グラウンド間七・一㌔）二部（杉久保経由を除く四・七㌔）に分かれ、二百三十人が参加しました。結果は次の通りです。

230人がスタート

【1部】（7.1㌔）▽一般男子①新井鉄也22分54秒②松本幸穂23分03秒③加藤力23分13秒④小野沢正博⑤能重正昭⑥宇田川雅紀▽高校男子①和田淳22分58秒②松田和彦23分55秒③亀子浩靖24分38秒④目黒暢一⑤柏当晃⑥山口政芳

【2部】（4.7㌔）▽一般女子①西貝はつ子18分55秒②下山雅子19分17秒③出戸端友香19分20秒④西脇恵子⑤大平輝美⑥杉沢千絵▽中学男子①瀬頭功16分05秒②松田明大16分54秒③原田匡16分57秒④田畑剛⑤下川祐輝⑥石川秀俊▽中学女子①原口麻貴19分24秒②鹿島亜希子19分25秒③千葉真樹子20分07秒④松本みどり⑤伊藤桂子22分16秒⑥隅田奈生子。

紙しばいの楽しい演じ方

読み聞かせと語りのための中級講座

紙しばいを上手に演じて子供たちを楽しませてみませんか。

時間・場所は一月二十二日、二十九日の二日間、午前十時から正午、市立図書館二階視聴覚室。内容は紙しばいの上手な読み聞かせ方、講師は子供の文化研究所所員　右手和子さん　対象は一般五十人　申し込みは一月十三日午前九時から市立図書館（31・5152）へ。

海老名の坂⑨

市史を訪ねて　上の坂（うえのさか）

この坂は、厚木ナイロンミサワホーム㈱前の県道杉久保座間線から、東方勝瀬地区西南端の十字路までの約百六十㍍の直線の坂である。

大谷地区の中で、いわゆる九里の土手にかかる坂としては最も北方にある坂なのでこの名がある。

この坂は昔は台地下の根下（＝地名、家数が八軒あったので八軒庭ともいう）の管理下にあった。幅員は二・四㍍ほどで、左右からは真竹やケヤキに覆われ、夕が早くから暗闇坂となったり、雨が降ると荷車は前の通った轍たちに深くはまり込んでしまい随分百姓泣かせであったとのことである。

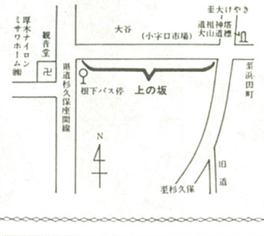
また、坂の途中の南側には目通り（大人の目の高さに相当する部分の木の幹の太さ）一・五㍍ぐらいのモチの木があったが、霜崩れで太い根をあらわにして枝が道に覆いかぶさるようになっているため、たいそう無気味で、夜間、茶目っ気のある青年はこの木の枝にふんどしをぶらさけて、同僚を脅すといういたずらをしたこともあったという。

上り切ると海老名の大ケヤキ方面からの道と交差するが、その十字路の勝瀬地区側に全高七十二・五㍍の道祖神塔がある。この塔には上の坂に関係の深い十二戸の人たちの名が刻まれているほか、右側面に「上の坂改修記念」左側面に「昭和六年三月再建」とある。つまりこの坂は、五十五年前に四㍍道路に生まれ変わったのである。

道祖神塔のわきには高さ四十四㌢、幅が広い部分で三十一㌢の小さな自然石の道標がある。年記はないが「みぎ大山ミち」とある。

大山道の多くは東西に通じ、道標はこれに従って指示するのが常道だが、ここでは国分・大谷間の南北の主要道路について指路しているので、この点と自然石で作られた点で珍しい道しるべだといえる。

昭和四十四年、大谷小学校の開校に伴い上の坂は通学道路として、またまた七㍍に拡張されて都市化の脚光を浴び、今では浜田町方面からの自家用車による交通も相当なものになっている。



公民館だより

正郷四七六・二☎32・3231

おせちに腕ふるう

「男の料理教室」でお父さん大奮闘

回を重ねることに腕前も上がった

「鮭の砧巻き」「若鶏の煮込み」「松笠イカ」「炒り煮」―これは十二月七日に行われた「男の料理教室」でお父さん方が腕をふるったおせち料理の内容です。

今回も大盛況だったこの料理教室、初めて参加した若いお父さんもすぐに和やかな雰囲気にとけこみ、一生懸命がんばっていました。

「何げないテクニックを覚えられ、妻にも自慢できます」

留袖もバッチリ

公民館講座　着付教室

「着付教室」は全十回開催されました。最終回はまとめで、留袖の着付けを行いました。

留袖ともなると、襟の合わせ方や帯の結び方などが難しいため、人に着付けてもらう方が多いようですが、受講生の皆さんは熱心に練習した甲斐あって、上手に着られるようになりました。

「普通なら半年かかるのに十回で見事に着られるようになり、たいしたものです」

と西山利子先生からもおほめの言葉がありました。

「料理の流れやポイント、工夫点がよくわかりました」

と、回を重ねることにお父さん方の交流は深まり、腕前も上がっているようです。

これからはひとりで着られます

今月のプロフィール

信頼関係を大切に

かながわ技能コンクールで優勝した

金子　勝彦さん

「自分の造ったものが"形"として後に残っていく…。これが大工仕事の魅力であり、喜びです。それだけに、仕事に手抜きはできません」と話す金子勝彦さん。

金子さんは、十一月十一日に横浜で開かれた「第十八回かながわ技能コンクール」（県など主催）・建築大工の部門で見事に優勝した。このコンクールは、技能の向上と、技能が尊重されるような社会であることを願って毎年行われているもので、建具製作、畳製作など十五部門で構成されている。海老名市建築職組合（高橋衛組合長、98人）の推薦を受け二年連続して出場した金子さんは「前回が敢闘賞だったので、今回は明するところがありました。参加する機会を与えてくれた組合に感謝しています」と…。

金子さんの家は、昔からの町大工。四代目に当たる金子さんは、高校卒業後、生まれ育った環境からごく自然にこの道に入ったという。藤沢市と本郷の工務店で五年間修行した後、家の仕事を手伝い、二年ほど前から自分の仕事を持つようになった…。大工にとって大切なのは、まず視力と体力で、一人前の大工として"仕事が見える"ようになるには、普通十年はかかるそうだ。

コンクールでは、決められた時間内に作品を仕上げなければならず、しかも人前での作業で緊張の連続であったという。課題は四方転び（という脚立で、細かな技術が要求されるため、日頃の研究心と集中力の差が結果を分けたのではと金子さん。

「お客様との信頼関係を大切にして行きたい。そのためにも、受けた仕事は責任を持って最後まで自分の目で見届けます」と話す金子さん。手掛けた家の建前の日を「家の誕生日」と呼び、必ず様子を見に行っているそうだ。

杉久保在住　二十六歳

西洋の詩歌を学ぼう

公民館講座の受講生を募集

親しまれている翻訳詩とヘッセ、リルケ、ボードレーヌを学んでみませんか。

期間は1月23日～3月13日までの毎週金曜日、全8回で時間は午後2時～3時半。

会場は市立中央公民館。講師に詩人の光山樹太郎氏を迎えます。

申し込みは1月19日（月）までに電話で直接、市立中央公民館（☎32・3231）へ。

訂正

十二月一日号でお知らせしたIII期公民館講座・市民教養大学講座の表中、手芸の期間一月十九日～三月二十日は一月九日～三月二十日の誤りでした。

健康教室と将棋大会

老人クラブの方参加を

市老人クラブの会員を対象にした「健康教室」と「将棋大会」が、市立総合福祉会館を会場に次のように開かれます。

☆健康教室　▽一月二十一日（水）午後一時半～三時半、「成人病予防と生きがい」医事評論家西来武治氏▽一月二十八日（水）午後一時半～三時半、「健康を保つ市予防保健課保健婦。

☆将棋大会　一月二十三日（金）午前十時から。一月十九日（月）までに氏名、クラブ名、電話番号を老人係（内436）へ。弁当は持参。ただし十九日までに申し出れば市で注文します

（一食五百円）

杏里コンサート

昭和六十二年三月二十五日（水）午後六時半開演、市文化会館（☎32・3231）。入場料は全席2500円（全席指定）。大好評前売中。主催＝海老名市・市文化会館事業協会

12月の価格情報

（単位：円）

品目	単位	大型店 平均価格	大型店 最多価格	中小店 平均価格	中小店 最多価格
しょう油	パック1L	246(▲1)	268	266(▲4)	258
みそ	袋入1kg	271(▲67)	238	318(▲6)	358
砂糖	白1kg	258(▲10)	268	269(▲3)	268
マーガリン	パック225g	176(▲37)	188	190(▲21)	188
サラダ油	ポリ700g	311(▲76)	368	319(▲66)	368
マヨネーズ	ポリ500g	281(▲44)	338	340(▲6)	338
小麦粉	薄力粉1kg	194(▲2)	203	215(3)	208
牛乳	パック1L	203(2)	188	205(5)	178
鶏卵	M10個入	245(▲13)	248	239(▲5)	250
豚肉	もも肉100g	171(25)	－	148(▲20)	138
無リン合成洗剤	箱入2.65kg	902(15)	910	895(▲4)	910
粉石鹸	袋入3kg	862(50)	850	880(2)	－
灯油	配達18ℓ			758(▲516)	700

※価格は、海老名市消費生活モニター30名の協力を得て、月初めに調査した通常平均価格です。　（　）内は前年同月比で▲印は、安。

みんなの消費生活講座

一月二十三日（金）午前十時～正午、市立中央公民館で。テーマは「財テクブームの落とし穴」講師は消費生活コンサルタント引馬孝子氏。対象は一般消費者四十人、先着順。

申し込み・問い合わせは商工課（内515）。

フォトトピックス

親子で製作

杉久保青健でたこ作り

伝統ある相模だこのミニチュア版（60×60㌢）作りを通して、子供たちに自分で物を作る楽しさを知ってもらおうと、十二月十四日、杉久保児童館で「たこ作り教室」が開かれた。

杉久保青少年健全育成連絡協議会主催のこの教室は今年で三回目。会場には約七十人の親子が集まり、有馬地区青少年指導員柳田喜孝さん（＝さらの指導でたこ作りを…。「思ったより難かしい」と子供より夢中になるお父さんも見うけられた。

たこの作り方を説明する柳田さん

収穫を味わう

門沢橋小でもちつき大会

十二月六日、門沢橋小学校（山口健二校長、児童数七百九十四人）で、恒例のもちつき大会が行われた。

同小学校では数年前から近くの田を借りて、児童たちがもち米作りをする四時間後には、アニメの主人公などが描かれた三十以上のたこが完成、一月十五日には杉久保小学校でたこあげ大会が行われる。

児童全員がもちつきを…

「体験学習」を行っているが、もちつき大会はその最後の仕上げ。

当日、グラウンドに置かれた四つの臼（うす）を囲んだ児童たちは、自分たちが行った田植え、稲かりを思い出しながら杵（きね）を振り上げたが、中には目標を誤り臼をつく子も…。

「よいしょ、よいしょ！」の掛け声とともに、二俵分のもちをついた児童たちはPTAのお母さん方が用意したきなこやあんこをつけて、さっそく舌つづみ…。「苦労したぶん、おいしい！」と満足気だった。

身振りで寸劇

東ドイツからパントマイム

十二月七日、市総合福祉会館で海老名市聴覚障害者協会（佐藤光一会長）主催の「ベルリン・デフマイム・アンサンブル海老名交流会」が行われた。この交流会は、同協会が三年前に開かれた「世界ろうあ者演劇会議」をきっかけに親ぼくを深めて来たなかで、実現したもの。

クルトさんの寄りかかるポーズ

「ベルリン・デフマイム・アンサンブル」は、東ドイツを代表するパントマイム劇団で、労働者や学生などのろうあ者が中心となっており、来日したクルト・アイゼンブレイターさんとイングリード・コシンスキさんは同アンサンブルを代表する演者。

当日、会場を埋め尽くした二百人を超す観客の中には、二人の見事な演技に思わず身を乗り出す人もいて演技終了後、二人には盛んな拍手が送られていた。

手話劇を楽しむ

さつき会でクリスマス

手話劇「泣いた赤おに」も上演

十二月十三日、市福祉会館で一足はやいクリスマスが開かれた。主催したのは、手話通訳のボランティア活動を続けている「さつき会（三橋廣子会長、会員、90人）」で、今年で十一回目。

手話を通して、交流し合い、親睦を深めるために、会が結成されて以来、毎年開かれている。家族連れの参加者が多く家庭的な雰囲気の中で、手話を交じえた話に花が咲いていた。

クリスマスの余興には、手話劇で「泣いた赤おに」やおニャン子クラブの「セーラー服をぬがさないで」などが演じられたが、手話のわからない人のために、OAPを使って文字拡大投映するなど、健常者と聴覚障害者が一体となって手話劇を楽しんだ。

海老名むかしばなし

第152話　郷礼（ごうれい）

今はすっかり姿を消してしまったが、郷礼とは元旦に村中を回礼（年賀のあいさつ回り）して歩くことである。

郷といえば有鹿郷、恩馬郷といったように大体数ケ村を合わせたものをいったが、ここでは一村の意味である。郷礼の風習は平安時代から行われていることが文献にあるというが、これは元旦に限らず十五日までの間に済ませたということから、やや趣が異なる。

郷礼をする人は普通、戸主であった。戸主はまた年男といって歳末のあわただしい中で、新年を迎える準備をした。お飾りは大晦日に飾るのを一夜飾りといい禁忌とされていた。そのため大晦日の前日までに山から松や竹を切ってきて門松を立てたり、お飾りを各所へ飾りつけた。

「お飾りというのだから、できるだけ飾らなくては……」といって、時間をかけて手の込んだものが作られた。

そして元旦は、まだ暗いうちに誰よりも先に起床し、若水を汲んで歳神様をはじめ神に供える神酒徳利、木皿などの祭器を洗い浄め、神灯をあげ雑煮を作って供える。このほか大神宮様、ご先祖様、荒神様、裏のお稲荷様など神仏に仕えるのが大切な役目であった。その後、家族一同年賀を交わし雑煮をいただく。明治、大正時代の風習は大同小異このようなものであった。

こうして朝の勤めが終わると隣近所の人たちと三々五々連れだっていよいよ郷礼に出発だ。

家ごとに「明けましておめでとうございます。本年もどうぞ……」と挨拶して回る。明治十七年の国分村の戸数は百三十軒であったから、一日がかりだったという。羽織こそ着ていたものの、草鞋ばきで人家が途切れた区間などは尻っ端折りで歩いたそうである。その後、村を三つに分けて郷礼の範囲を縮少し、私の家の範囲は小字谷戸、日久保、辻、逆川、滝の下のいわゆる大講中約四十戸になった。

しかし小作人は、地主方へは範囲外でも出向いた。地主階級の家では台所に立臼を伏せ、その上に四斗入りの酒樽をすえておき、誰彼となく接待した。酒好きな人にはこれが無上の喜びで、どこの家でも遠慮なくいただき、熟柿のような顔になる人、呂律が回らなくなる人、はては道路で寝てしまう人などよく見かけたものだった。

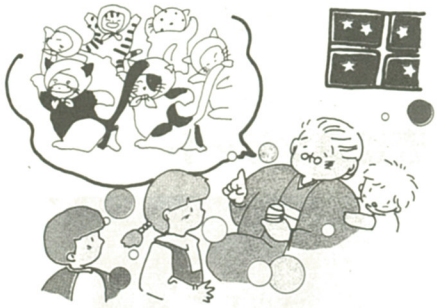
昭和五年から私は年男を勤めたが、このころは谷戸、日久保中心の郷礼だった。縞の着物に羽織、新調の足袋に桐の足駄で新年を味わって回った。

こうした郷礼も、昭和十二年七月七日の盧溝橋事件をきっかけに、日中戦争に突入してから影をひそめてしまった。

たとえ利害関係から村にトラブルがあっても、この郷礼の習わしは一円融合の平和な村、深い連帯感で結ばれた郷土、という印象を強くしたものだった。

（池田　武治）

海老名の昔ばなしが本になったよ



第3集を発行

1～3集を有料配布

市では「海老名むかしばなし」第三集（A5判、上製本カバー付、123㌻）を発行しました。この第三集は「広報えびな」に連載中の「海老名むかしばなし」のコーナーに掲載された五十三話を、再編集したものです。

また、品切れになっていた第一集も復刻、一集から三集までそろった「海老名むかしばなし」を有料（それぞれ五百円）で配布しています。希望の方は秘書広報課へどうぞ。

（カットは「むかしばなし」のさし絵の一部）

海老名むかしむかし

☎33・3838

電話で海老名の昔ばなしが聞けます。

12月29日～1月11日　第39話　春を運んできた遊芸人

1月12日～1月25日　第40話　行司さんの家